

ぐんまちゃんシター

群馬県の旬のおすすめ情報を
「ぐんまちゃん」がお知らせします

2016年7月号



群馬で本物に触れる

魅力いっぱい！群馬の県有施設

全国各地に美術館や博物館、テーマパークなどがありますが、群馬県は全国に誇る、特色ある施設を数多く有しています。その中から「本物に触れる」ことができる施設をご紹介します。

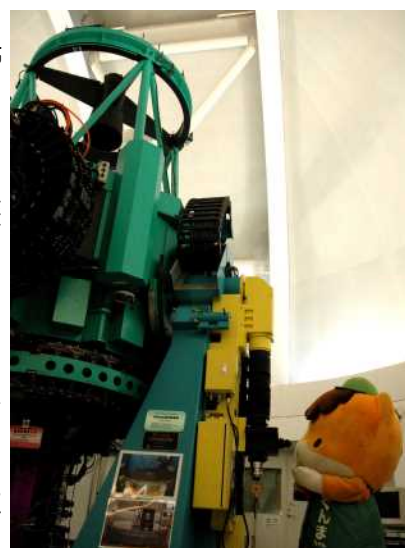
本物の星空を鑑賞～ぐんま天文台～

・世界最大クラスの望遠鏡

美しい星空を守る「光環境条例」が制定されるなど、星空鑑賞に最適な吾妻郡高山村の山頂に建つ「ぐんま天文台」は、澄んだ空気と人工光の少なさから、本物の星空を鑑賞することができます。

注目は、目で直接覗くことができるものとしては世界最大クラスの150cm反射望遠鏡。この望遠鏡は凹面鏡と凸面鏡を組合せて光を集める反射式望遠鏡で、主鏡の直径が150cmあります。

150cmを超える鏡を使った望遠鏡はほとんどが研究専用で、目で直接覗く装置がありませんが、ぐんま天文台では、特別にこの装置を設置して来館者に宇宙を直接感じていただいています。



・太陽望遠鏡

屋上に設置された口径30cmの望遠鏡を太陽に向けて集めた光を展示室に導き、直径約1メートルの太陽像を投影板に映しています。黒点、白斑、粒状斑などが見られ、分光器も備えており、太陽のスペクトル(色の帯)も観察できます。



・屋外モニュメント

「ジャンタル・マンタル」は、インドの藩王ジャイ・シン2世が18世紀に作った天体観測機器群です。そのうち「サムラート・ヤントラ」と「ラシバラヤ・ヤントラ」を、ぐんま天文台の位置にあわせて再現しています。

「ストーンサークル」は、日の出・日没時の太陽の位置を観測することで現在の暦を知ることができます。ヒールストーン影が来る位置には、二十四節気を記した石版を設置してあります。



【イベント情報】

○ぐんま天文台「ペルセウス座流星群説明会＆観測会」

期日 8月12日(金)

内容・時間 説明会：午後3時～、4時～、6時15分～

観測会：午後8時～翌日午前4時

※雨天の場合は説明会だけ実施

定員 説明会 80人(先着順) ※観測会はなし

費用 無料

本物の絹を体感～日本絹の里～

「群馬県立日本絹の里」(高崎市金古町)は、繭や生糸に関する資料や群馬の絹製品の展示、絹を使った染織体験など、日本一の養蚕県である群馬の本物の絹を体感することができます。

特別展(夏休みこども展)「学ぼうカイコ」

会期 8月29日(月)まで ※火曜日休館

時間 午前9時30分～午後5時

内容 夏休みの子ども向けに、カイコの生態や飼育法などを紹介します

○関連イベント(無料体験)

- ・ 絹糸のタッセル作り(定員先着各20人)

日程 7月20日(水)、28日(木)

時間 午前10時～正午

午後1時30分～3時30分

- ・ 絹のしおり作り(定員先着各30人)

日程 7月21日(木)、27日(水)

時間 午前10時～正午

午後1時30分～3時30分



本物の昆虫に触れる～ぐんま昆虫の森～



「ぐんま昆虫の森」(桐生市新里町)は、45haに及ぶ敷地に日本人の原風景ともいえる里山を再現。人間が生活のために手を加え管理してきた里山は、昆虫など生き物にとっても暮らしやすい場所です。虫取り網(無料貸出し)を使っの虫取り体験や養蚕、稲刈りなどの里山生活を体験できます。

また、大きなガラスドームが目を引く「昆虫観察館」では、日本の里山や世界の生きた昆虫を一年中見ることができ、昆虫ふれあいコーナーでは実際に昆虫に触れることもできます。

亜熱帯の植物が生い茂る巨大な温室では、日本最大級のチョウ「オオゴマダラ」が飛び交う姿を間近に観察できます。

企画展「蝶・Butterflies」

会期 8月28日(日)まで ※月曜日(8月8日、15日を除く)は休園

時間 午前9時30分～午後5時(入園は4時30分まで)

内容 日本と世界の多種多様なチョウを、標本展示やパネルなどで紹介します

自然観察会「樹液に集まる昆虫」

期日 8月14日(日)

時間 午前10時～正午(受け付けは9時30分から)

内容 カブトムシなどの樹液に集まる昆虫を観察します

対象 一般 ※小学生以下は保護者の付き添いが必要

定員 40人(当日先着順)



本物の歴史を学ぶ～歴史博物館～

「群馬県立歴史博物館」(高崎市綿貫町)は、平成26年10月から長期休館となっておりましたが、いよいよ7月23日(土)にリニューアルオープンします。

見どころは、常設展示室の最初に新設された「東国古墳文化展示室」。中でも、日本で初めて発見された「甲を着た古墳人」の模型(渋川市・金井東裏遺跡出土)は、古墳時代後期の6世紀初めに榛名山ニツ岳が噴火した際、火砕流に巻き込まれて亡くなった人物と考えられており、当時の様子を物語る貴重な歴史資料として注目されています。



このほか、ユネスコ「世界の記憶」に登録を目指している「上野三碑」や東日本最大の古墳王国・ぐんまの歴史などについて、模型やデジタル映像を駆使して分かりやすくご紹介します。

夏休み期間中は、子どもも楽しめるワークショップを週替わりで実施するほか、実際に手で触れるハンズオン展示、ミッションをクリアしながら展示室を巡るワークシートもあります。

※7月31日(日)までは、無料で入館いただけます。

イベント情報

○7月23日(土) 午前10時～ オープニング記念セレモニー(テープカット、内覧会)

【オープニングスペシャルイベント】※参加費無料

- ・午前11時～正午 伝統芸能「千本木龍頭神舞」(県指定重要無形民俗文化財)披露
- ・午後1時30分～3時30分(0時30分から整理券配布)

右島和夫館長による特別講演会 「甲を着た古墳人の人物像」

※一般の観覧は11時から、24日(日)以降は9時30分から午後5時(入館は4時30分)まで

○8月7日(日) 11時～、午後1時～ 群馬交響楽団による弦楽四重奏

○8月21日(日) 正午～午後4時 東国古墳文化シンポジウム「古墳時代の東国と畿内～群馬県・金井東裏遺跡と奈良県・南郷遺跡群の調査から～」(要予約)

●ワークショップ(午後1時～3時30分) ※予約不要・参加費無料

7月23日(土)～9月2日(金)	歴博ぬりえ
7月23日(土)、24日(日)、25日(月)	ミニミニ埴輪づくり
7月30日(土)、31日(日)	ミニミニ土偶づくり
8月6日(土)、7日(日)、11日(木)、12日(金)	銅鏡団扇づくり
8月13日(土)、14日(日)、15日(月)	ペーパー上州兜づくり
8月20日(土)、21日(日)	浮世絵「倉賀野」多色刷り
8月27日(土)、28日(日)	富岡製糸場しおりづくり

取材先のご紹介や画像提供など、ご相談ください。

群馬県広報課 ぐんまイメージアップ推進室

TEL: 027-897-2695 E-Mail: kouhouka@pref.gunma.lg.jp